

**建築基準法第12条第5項に基づく（工事監理・工事状況）報告書**  
鉄筋コンクリート造（第1回特定工程：基礎・地中ばり配筋終了時）

平成 年 月 日

建築主事 様

建築確認済証番号	平成 年 月 日 第 号
建築主氏名	
建築場所	

上記、工事中の建築物の（工事監理・工事状況）に係る結果を次のとおり報告します。

報告者 工事監理者	住所
	氏名 <span style="float:right">㊟</span>

設計図書と照合した結果、変更は、  ありません。  
 ありますので、別添のとおり報告書を添付します。

確認項目	内 容	工事監理者用		検査員用		摘 要
		結果	指摘 番号	検査方法	結 果	
敷地等	敷地	a	道路幅員・接道長		A B	適・否
		b	確認表示板の設置		A	適・否
		c	設計図書の備え		A C	適・否
		d	建築物の道路・敷地境界線からの 離れ及び敷地形状		A B C	適・否
		e	高さ1.8m以上の仮囲い		A	適・否
		f	落下物に対する防護		A	適・否
		g	山止め		A C	適・否
① 全体		a	基礎、柱、はり、壁、階段、スラブ等位置の確認		A C	適・否
		b	かぶり厚さの確認		A B C	適・否
		c	鉄筋の材質の確認		A C	適・否
② 地盤	支持地盤	a	支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認		A C	適・否
③ 基礎	種類	a	基礎の種類、杭の工法、長さ、 径、偏心による補強等		A C	適・否
		b	基礎寸法、主筋径、本数、主筋位置、 杭頭補強筋		A C	適・否
	地中ばり	c	断面寸法、主筋径、本数、主筋位置、		A B C	適・否
		d	定着方法、継手(位置、長さ)		A B C	適・否
		e	あばら筋の位置、径、間隔形状等		A B C	適・否
		f	あばら筋のフック形状、結束状況		A C	適・否
	柱	g	主筋径、本数、主筋位置、		A B C	適・否
		h	定着（基礎部分）		A C	適・否
		i	帯筋の位置、径、間隔形状等		A B C	適・否
		j	帯筋のフック形状、結束状況		A C	適・否
④ スラブ	スラブ筋	a	スラブ厚寸法、鉄筋のピッチと径		A B C	適・否
		b	主筋配置と支持条件		A C	適・否
	定着・重ね継手	c	定着長さ与方法（はり定着、隣接スラブ定着、 段差スラブ定着）		A B C	適・否
		d	継手の位置と長さ		A B C	適・否
	補強筋等	e	床スラブの出入隅部の補強		A C	適・否
		f	開口補強筋		A C	適・否
		g	階段部配筋と補強筋		A C	適・否
⑤ その他	補強筋	a	設備配管の位置		A C	適・否
		b	継手位置のずらし		A B C	適・否
	ガス圧接継手	c	圧接形状		A C	適・否
		d	強度確認等		A C	適・否
	特殊鉄筋継手	e	認定、評定工法		A C	適・否
		f	鉄筋位置のずらし		A C	適・否
	型枠等	g	型枠状況、清掃状況等確認		A C	適・否

※ 検査方法 A 目視検査、B 計測検査、C 監理者報告  
※ 太線枠内には記入しないでください。

